



もっこつれんがぞう 木骨煉瓦造

「木骨煉瓦造」とは木材で骨組みを造り、壁の仕上げに煉瓦を用いる建築方法です。西欧の影響を受けた近代の日本に見られるもので、後に骨組みの外側を完全に煉瓦積みで覆う方法が主流となりますが、初期には骨組みを見せ、その間を埋めるように煉瓦を積む方法が取られました。富岡製糸場は初期の木骨煉瓦造を代表する例です。

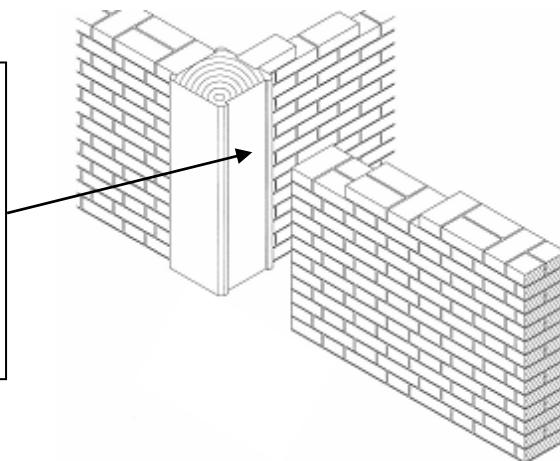
イギリス・フランス・ドイツなどでは、ハーフティンバーと呼ばれる伝統的な木造住宅の建築様式が見られます。これは骨組みを外部に現し、その間を煉瓦や石材、土壁で埋める方法で、木骨煉瓦造の原型とも考えられます。

富岡製糸場内の木骨煉瓦造の特徴のひとつ

→《柱の欠き込み》

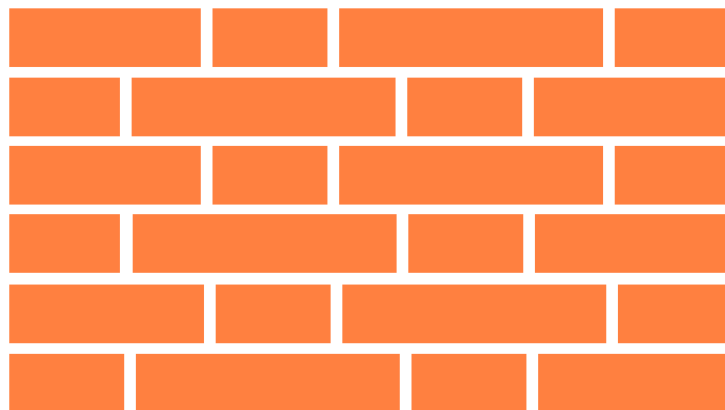
富岡製糸場内の木骨煉瓦造で建築された建物は、基本的には煉瓦の横幅で深さ約15mm程度、柱に欠き込みをして煉瓦を納めています。組み立て順序はまず木材で軸部を組み上げ、その後に煉瓦積みを行ったと思われます。富岡製糸場は、短期間で建設されましたが、この柱への欠き込みのおかげで、柱がゆがんだり、大きな割れがでなかったのかもしれません。

ちょうど、煉瓦の横幅に合わせて欠き込みがされており、この欠き込みに煉瓦がはめてあります。



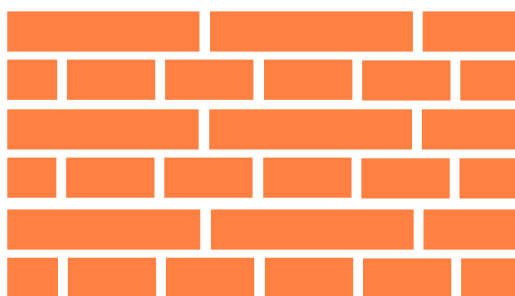
フランス積み

とみおかせいしじょう もっこつれん がぞう たてもの つか
富岡製糸場の木骨煉瓦造の建物に使われている煉瓦は、日本人の 瓦 職 人
がフランス人技術者から教わり、焼き上げました。煉瓦の積み方は、煉瓦の向
きを長い面と 短い面、交互に並べています。この積み方を日本では「フラン
ス積み」と呼んでいます。

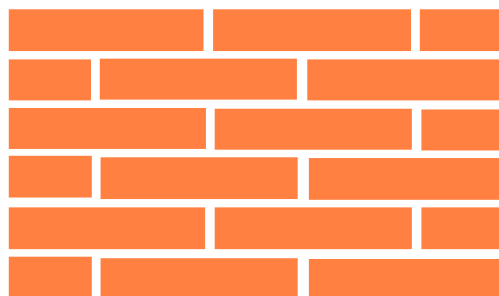


フランス積み

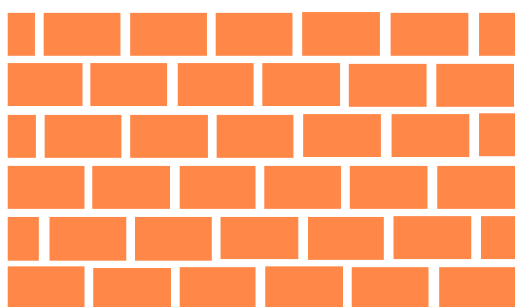
ほか
※他にはどんな積み方があるのでしょうか？



イギリス積み



長手積み



ドイツ積み(小口積み)

ほか
他にもいろいろな積
み方があります。
みなさんの家のまわ
りには、どんな積み
方がありますか？

